



ファームウェアバージョン:	V2.00.B039	
ハードウェアバージョン:	DGS-3200-10/GE	A1、A2、A3、B1
	DGS-3200-16/GE	A1、A2
	DGS-3200-24/GE	A1
発行日:	2012/10/29	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次:

変更履歴とシステム要件:	2
アップグレード手順:	2
CLI(シリアルポート)を使用したアップグレード	2
Web-UI を使用したアップグレード	4
追加機能:	7
修正した問題点:	7
既知の問題:	7
MIB および D-View モジュールの変更点:	8
コマンドラインインタフェースの変更点:	8

変更履歴とシステム要件:

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
ランタイム: v2.00B039	2012/10/29	DGS-3200-10/GE	A1、A2、A3、B1
		DGS-3200-16/GE	A1、A2
		DGS-3200-24/GE	A1

アップグレード手順:

アップグレードを行うには、CLI(シリアルポート)を使用する、もしくは Web-UI を使用することで、アップグレードを行うことができます。

CLI(シリアルポート)を使用したアップグレード

1. スイッチの電源を切り、RS-232 シリアルポート(コンソールポート)で PC と接続し、ターミナルソフトウェアを起動します。ターミナルソフトウェアの設定は下記の通りです。
(本手順書ではターミナルソフトウェアは Tera Term を使用しています。)

- ボーレート: **115200**
- データビット: **8**
- パリティ: **none**
- ストップビット: **1**
- フロー制御: **none**



2. VT-100 のエミュレーションが可能な端末エミュレーションプログラムが起動していて、かつシリアルポートに上記設定を施した PC と、本スイッチのシリアルポートを RS-232 DB-9 ケーブルで接続します。
3. 接続が正常に行われると、ユーザ名とパスワードの入力を求められますが、管理者のユーザ名及びパスワードは、初期状態では登録されていないので「enter」キーを 2 回押し、ログインします。
4. ログイン後は下記のコマンドを使用し、ファームウェアのアップデートを行います。

コマンド	説明
download [firmware_fromTFTP [<ipaddr> <ipv6addr>] <path_filename 64> image_id <1-2>]	スイッチにファームウェアをダウンロードします。
config firmware image image_id <int 1-2> boot_up	Boot up イメージファイルの変更をします。
show firmware information	現在のブートイメージと設定ファイル名を表示します。
Reboot	スイッチをリブートします。

※ CLI コマンドの詳細は CLI マニュアルを参照下さい。

次ページの例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

例:

DGS-3200-10:4#download firmware_fromTFTP 10.90.90.91 DGS3200_Run_2_00_B039.had image_id 1

Command: download firmware_fromTFTP 10.90.90.91 DGS3200_Run_2_00_B039.had image_id 1

Connecting to server..... Done.

Download firmware..... Done. Do not power off!

Please wait, programming flash..... Done.

DGS-3200-10:4#config firmware image_id 1 boot_up

Command: config firmware image_id 1 boot_up

Success.

DGS-3200-10:4#show firmware information

Command: show firmware information

Image ID : 1(Boot up firmware)

Version : 2.00.B039

Size : 4140380 Bytes

Update Time: 2000/01/03 22:11:49

From : 10.90.90.91(Console)

User : Anonymous

Image ID : 2

Version : 1.35.B024

Size : 3444632 Bytes

Update Time: 0 days 00:00:00

From : Serial Port (Prom)

User : Unknown

DGS-3200-10:4#reboot

Command: reboot

Are you sure you want to proceed with the system reboot?(y/n) y

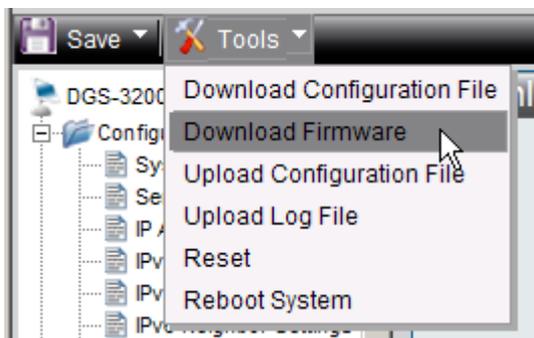
Please wait, the switch is rebooting...

注意: スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

リブート終了後に“show switch”コマンドを実行し、新しいファームウェアに更新されているかを確認してください。

Web-UIを使用したアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。
デフォルトのシステム IP アドレスは 10.90.90.90 です。
3. PC 上で TFTP サーバを有効にします。
(必ず TFTP サーバをご使用の PC にインストールを行っておいください。)
4. お客様の PC から RJ45 ネットワークケーブル経由でスイッチにアクセスできることを確認し、Web 管理画面からログインしてください。管理者のユーザ名とパスワードを入力は、初期状態では登録されていないので「空白」でログインを行ってください。
5. スイッチのファームウェア更新を行うには、**Tools > Download Firmware** の順にクリックします。

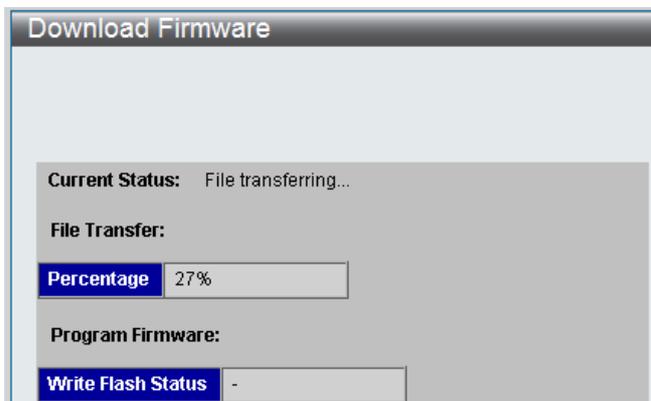


6. 「Download Firmware」画面において、必要な情報を入力します。
 - Server IP タイプ (IPv4 もしくは IPv6) を選択し、選択した IP タイプの入力欄に TFTP サーバの IP アドレスを入力します。
 - File Name: TFTP サーバ上に保存したダウンロード済みのファームウェアファイル名を入力します
 - Image ID: ファームウェアを格納したい Image ID (1 もしくは 2) を選択します。

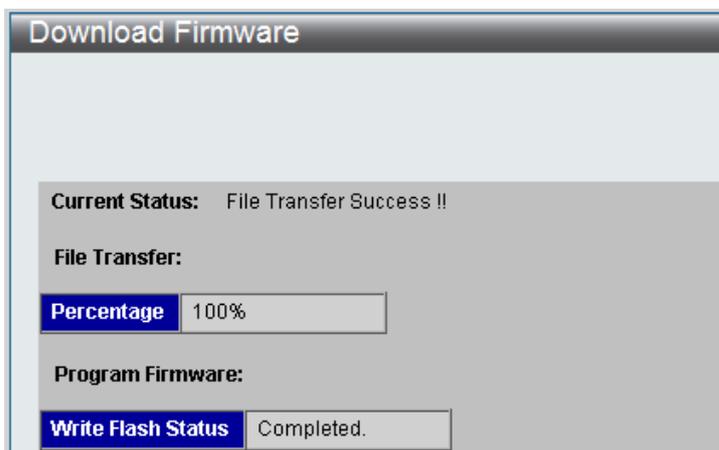
A screenshot of the 'Download Firmware' web form. It contains the following fields: 'TFTP Server IP' with the value '10.90.90.91', radio buttons for 'IPv4' (selected) and 'IPv6', 'TFTP File' with the value 'DGS3200_Run_2_00_B039.had', and 'Image ID' with a dropdown menu showing '1'. A 'Download' button is located at the bottom right.

必要な情報を入力後、「Download」ボタンをクリックしてください。

7. 「Download」ボタンをクリックすると、ファームウェアのダウンロードが開始され、下記画面のように表示されます。



8. File Transfer の値が 100%になり、Program Firmware のフィールドに”Completed”と表示されるまで待ちます。



9. 次のスイッチリブート時にブートアップを行う側のイメージを選択する前に、**Configuration > Firmware Information** の順にクリックし、ファームウェアがアップロードされたことを確認します。

ID	File Name	Version	Size (Bytes)	Update Time	From	User		
1	--	2.00.B039	4140380	2000/01/01 00:30:25	10.90.90.91(WEB)	Anonymous	Set Boot	Delete
*2	--	1.35.B024	3444632	0 days 00:00:00	Serial Port(Prom)	Unknown	Set Boot	Delete

「*」は現在ブートアップファイルとして設定されている Image ID を指しています。

10. 新しくアップロードしたファームウェアを次回ブートアップファイルとして設定するために、設定したい Image ID を選択し、「Set Boot」ボタンをクリックし、ブートアップファイルを設定します。

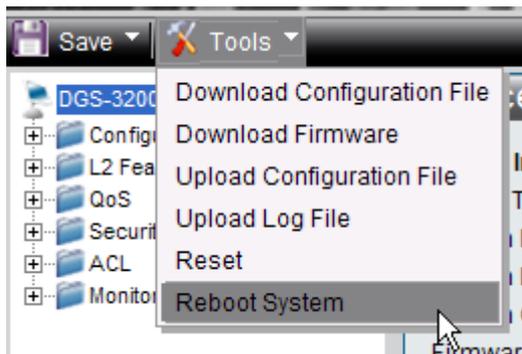
ID	File Name	Version	Size (Bytes)	Update Time	From	User		
1	--	2.00.B039	4140380	2000/01/01 00:30:25	10.90.90.91(WEB)	Anonymous	Set Boot	Delete
*2	--	1.35.B024	3444632	0 days 00:00:00	Serial Port(Prom)	Unknown	Set Boot	Delete

11. ブートアップファイルの登録が正常に終了すると、「Success!」とメッセージが表示されます。

Firmware Information							Safeguard	
ID	File Name	Version	Size (Bytes)	Update Time	From	User		
*1	--	2.00.B039	4140380	2000/01/01 00:30:25	10.90.90.91(WEB)	Anonymous	Set Boot	Delete
2	--	1.35.B024	3444632	0 days 00:00:00	Serial Port(Prom)	Unknown	Set Boot	Delete

「*」は現在ブートアップファイルとして設定されている Image ID を指しています。

12. スイッチのリブートを行なうために、Tools> Reboot System の順でクリックします。



13. 「Reboot System」画面で、「Do you want to save the settings?」で「Yes」を選択し、「Reboot」ボタンをクリックします。



注意: スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

14. リブートが終了すると、ログイン画面が表示されます。ログインし、WEB GUI のトップページに表示される Device Information において、新しいファームウェアに更新されているかを確認してください。

Device Information			
Device Information			
Device Type	DGS-3200-10 Gigabit Ethernet Switch	MAC Address	00-1C-F0-9D-5D-50
System Name		IP Address	10.90.90.90 (Manual)
System Location		VLAN Name	default
System Contact		Subnet Mask	255.0.0.0
Firmware Version	2.00.B039	Gateway	0.0.0.0
Hardware Version	A1	Login Timeout (Minutes)	10
System Time	01/01/2000 00:00:44		
Device Up Time	0 days, 0 hours, 0 minutes, 44 seconds	Boot PROM Version	1.00.B006
Dual Image	Supported		

追加機能:

ファームウェアバージョン	追加機能
V2.00.B039	1. 特になし

修正した問題点:

ファームウェアバージョン	修正した問題点
V2.00.B039	<ol style="list-style-type: none"> 1. MSTPを設定する順序によっては、MSTPが正しく動作しなくなる問題を修正いたしました。 2. IGMP Snooping 機能について、IGMPレポートが転送されない場合がある問題を修正いたしました。 3. Web(HTTPS)から設定管理を行った場合にオペレーションがハングアップする場合がある問題を修正いたしました。 4. DHCP サーバをフィルタリングをしている場合、DHCP サーバからのユニキャストオファーがブロックされる問題を修正いたしました。 5. デバイスが、OID において間違ったバイトの SNMP カウンタを返す問題を修正いたしました。 6. トラフィックセグメンテーションの設定によっては、ミラーリングが動作しない問題を修正いたしました。 7. IGMPv3 について、IGMP クエリを送信しても、マルチキャストグループが維持されない問題を修正いたしました。 8. RSTP 使用時、ポート状態が誤って表示される問題を修正いたしました。 9. CPU ACL での Ethernet マスクプロファイルにおいて、Source MAC だけを設定した場合、SNMP エラーが発生する問題を修正いたしました。 10. リンクアグリゲーションのマスターでないポートのループ検知ポートステートが CLI 及び MIB を介して設定したものと異なる問題を修正いたしました。 11. MIB を介してプライベート VLAN の Forbidden ポートを削除することができない問題を修正いたしました。 12. Private VLAN テーブルにスタティック VLAN も表示されていた問題を修正いたしました。 13. MIB を介してマルチキャスト VLAN から最後のプロファイルを削除することができない問題を修正いたしました。

既知の問題:

ファームウェアバージョン	既知の問題
V2.00.B039	1. ケーブル診断機能において、Link 速度が 100Mbps(対向が FE のみサポートの PHY) の場合に診断の実行によりリンクダウンする問題。

MIB および D-View モジュールの変更点:

MIB ファイルの追加機能は、対応する D-View モジュールにも実装されます。

ファームウェアバージョン	変更点
V2.00.B039	特になし

コマンドラインインタフェースの変更点:

ファームウェアバージョン	変更点
V2.00.B039	特になし

Copyright 2006-2012 D-link Japan K.K.